

キャリアコンサルティング技能検定1級 学科・論述・面接試験 体験記

2020年 4月 8日

1級受検番号 NO 05F3620176

氏名 M O (大阪在住)

■1級技能士を目指したきっかけ
以前から1級受験を考えていました。指導者としてどのような関わりを求められているのかということに大変興味を持っていました。同じ頃に資格をとった知り合いが1級試験を受検した話をきき、挑戦してみようと思いました。1級は育成的な立場でキャリアコンサルタントに関わるための技能試験、私自身の今後の働き方も視野に入れて受検をしようと思いました。
■当初の勉強法
1級試験がどのようなものなのかを理解したかったので、「1級の会」の勉強会に参加しました。当初は、子育て、父の介護の両方が重なり、勉強時間を捻出するのが一番の課題でした。予定や仕事が入っていない日にまとめて復習をしたり、ロープレのDVDを何度もみて、1級試験の構造を理解することに努めました。守破離の守の段階と言えるかもしれません。
■合格のきっかけ
1回目の実技試験(面接)を振り返り、勝手な問いかけや関わりをしていたことに気づきました。2回目の受検のときは、事例相談者の方は大ベテランの方々。こちらが話を聴かせていただくという気持ちで関わることを心がけました。目の前の事例相談者が現場に戻って、自信を持って対応できるために、どのような目標を共有すればいいだろうか、その目標はその方にとって前向きに取り組んでみたいと思えるものとなるだろうかという観点で面談を行いました。
■学科試験の勉強
キャリアの赤本、青本、当時提供されていたインターネット教材を使っての復習、過去問を、何度も取り組みました。(持ち運べるので)労働関係の記事やニュースも目を通しました。
■論述試験対策
1回目の実技試験で合格点に到達していました。1回目、2回目共に過去問を何度もとき、書き出しました。何度も取り組んでいると、パターンのようなものが浮かび上がってくるように見え、事例相談者の課題が理解できるようになりました。
■面接試験対策
録音した自分のロールプレイングを何度も聴き、自分の面談のくせをとらえるようにしました。率直なフィードバックはありがたく、次回のロールプレイングでは課題点を意識し、自分の型をつくるようにしました。「失敗は成長の糧」と思い、練習を重ねました。試験前には、実技に対する苦手意識が薄れ、本番の試験では今まで学んできたことを出し切ろうという前向きな気持ちで臨むことができました。口頭試問も実技の重要な部分、丁寧に答えました。
■受検される方へメッセージ
1回目の受検では型を知る。試験の概要、構造、何を目的として質問されているのかなど、受検してみることで大きな学びの一つになると思います。2回目の受検では、自分の面談の課題を明らかにし、ロールプレイングを何度も行うことで、自分らしい面談ができてくるように思います。楽しく感じる時もあるかもしれません。そのことが受検を通して自己理解を含め、自己成長につながるのかもしれない。冬の試験なので、体調管理に気をつけて取り組んでください。